

(第2号様式)

久米島第1615号
平成25年3月 26日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立久米島高等学校
校長 半嶺 通 男

平成24年度県立久米島高等学校学校評議員について(報告)

平成24年12月27日付け教県第21409号により依頼のありました、みだしのことについて下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	平成24年7月20日(金)	場所	本校小会議室	出席状況	学校評議員5名、校長 教頭 事務長 各部の主任5名
第2回	日時	平成24年12月12日(水)	場所	本校小会議室	出席状況	学校評議員3名、校長 教頭 事務長 PTA会長 各部の主任
第3回	日時	平成25年3月13日(水)	場所	本校小会議室	出席状況	学校評議員2名、校長 教頭 事務長 PTA会長 各部の主任

2 学校評議員に求めた事項

- ①学校評価(生徒・保護者等)を踏まえて学校に求められていることについて意見を頂く。
- ②本校の在籍数を増やすためにいいアドバイスはないか。
- ③学校の取り組みについて意見を求めた。
- ④学校魅力化について何かいいアドバイスはないか。
- ⑤中高連携について何か意見はないか。

5 課題その他

- ①キャリア教育の重要性。小さい頃から家庭で進路について話し合う土壌づくりが必要。学校だけが進路指導の場ではない、積み上げが必要。
- ②コース制導入の件で学校だけが主体となるのではなく、久米島町も一丸となって取り組み早めに実現させる。
- ③島外へ久米島高校をPRする。
- ④登下校時に安全のため、歩道を歩くように学校側や家庭で注意を促す。
- ⑤染色実習では、できれば高校生が直接紬ユイマール館に向いてくれれば嬉しい。
- ⑥地域に高校をPRし、交流する手立てとして地域別に職員を割り振り、懇談会や巡回などの活動を行うのはどうか。

4 学校運営に反映した事項

- ①園芸講話実技実習で紬ユイマール館の職員に講師をお願いした。
- ②学校や生徒の活躍を地域に知らせるために校門前県道に横幕を設置した。
- ③全体集会で地域の声として安全指導を徹底した。
- ④同窓生を呼んで「教育フォーラム」を実施した。
- ⑤FM久米島で定期番組を持ち、広報活動を行った。

5 課題その他

- ①久米島島外からも生徒を呼び込めるような魅力有る学校づくり。
- ②進路指導体制の強化。